

世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来



クロアチア共和国



【表紙の写真】

(上)『ドゥブロブニク〜アドリア海の真珠〜』
紺碧のアドリア海とオレンジ色の屋根のコントラストが印象的なドゥブロブニク旧市街は、「アドリア海の真珠」と称され、世界遺産にも登録されています。



ウィキペディア

(下)『クロアチア人はカフェがお好き！？』
コーヒーが好きというよりおしゃべりが大好き。友人とカフェに入れば、一杯のコーヒーで2〜3時間は当たり前！見知らぬ人とも関係なく普通におしゃべりが始まるのだとか。陽気でおしゃべり好きなクロアチア人。平日の昼間からカフェは老若男女で賑わっています。



岡本和雄

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜクロアチア共和国?

第1章 クロアチアってどんな国?

＝アドリア海の宝石

色彩豊かな自然と歴史の宝庫＝

- 05 クロアチアってどこにあって、どんなところ?
- 07 見たい! 知りたい! クロアチア
～歴史と自然と産業を訪ねて～
- 11 教えて! マルコ君 ～クロアチアってこんな国～
- 13 クロアチアの学校生活 あるコト!? ないコト?
- 15 ちょっとブレイク
「クロアチアにしかない料理は存在しない!?
& 甘い誘惑 スイーツ特集」

第2章 へえ～! クロアチアと日本

- 17 知らなかった!! ”実はクロアチアなんです”
- 19 教えて! マルコ君 Part2～クロアチアの学校生活～
- 21 ちょっとブレイク
「見つけた! クロアチアの中の日本」

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

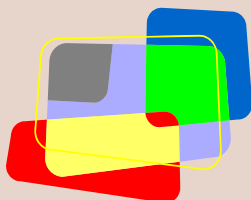
- 23 「クロアチア紛争」の悲劇を乗り越えるために その1
- 25 「クロアチア紛争」の悲劇を乗り越えるために その2
- 27 参考資料
- 29 フォトギャラリー

第4章 そして未来へ

- 31 未来を語ろう!
～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

★参考資料★

- 35 目で見るクロアチア
- 37 クロアチア地図
- 39 参考文献・データ等の出典
- 39 ご協力いただいた方たち
- 39 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい/つなげていきたい/
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。『国際交流』は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

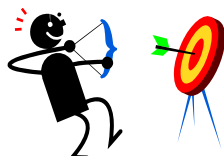
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようというプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、クロアチアのほんの一面です。本書だけでクロアチアのすべてがわかるわけではありません。クロアチアに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（公財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（公財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。（<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html>）

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



なぜクロアチア共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、クロアチア共和国のホームシティは碧南市でした。



愛知万博／クロアチア館



クロアチア共和国

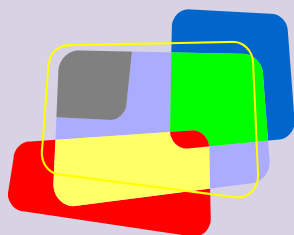
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トンガ王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェー王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

クロアチアってどんな国？

＝アドリア海の宝石
色彩豊かな自然と歴史の宝庫＝



クロアチアってどこにあって、どんなところ？

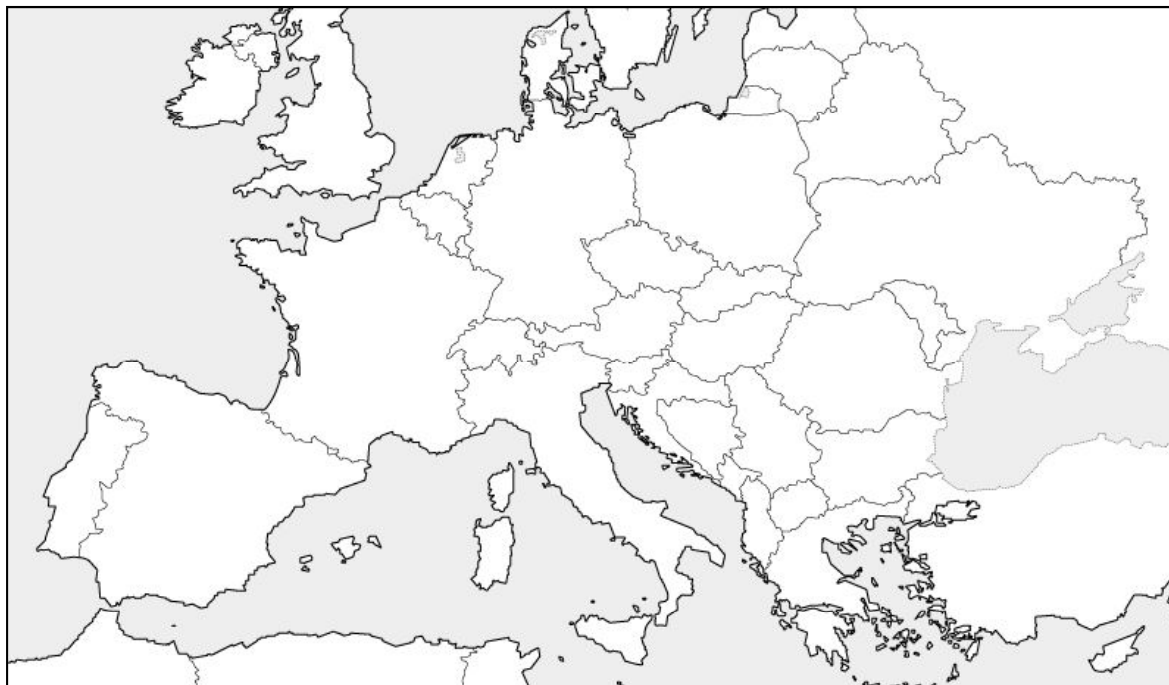


みなさんはクロアチアがどこにあるか知っていますか。また、どんな国でしょうか。

1

クロアチアはどこ？ 地図で塗りつぶしてみよう！

ヒント：ヨーロッパ大陸のイタリアとギリシャに挟まれたところです。



2

クロアチアの地理と国民を知るウソ・ホントクイズ！ さて、これってホント？

1

イタリアとギリシャに挟まれたクロアチアを含む7つの国は、20世紀には1つの国だった。



2

クロアチア沿岸部は温暖な地中海性気候であるが、冬には最大で時速200kmにもなる風が吹き荒れる日がある。



3

クロアチアは、イタリアとギリシャに挟まれているが、目立った観光地はない。



4

クロアチア人の男性の平均身長は、185cm前後である。



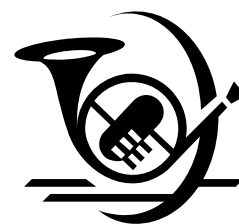
5

クロアチア人は、海を隔てた隣国イタリアとは対照的に、無口で大人しい人が多い。



6

クロアチアの郵便カラーは黄色で、マークは楽器のホルンである。





1 クロアチアはどこ？

右の地図の赤く塗りつぶした所がクロアチアです。アドリア海を挟んでイタリアの隣に位置しています。面積は約56,000km²で、九州の1.5倍、北海道の約7割に相当する広さです。



2 ウソ・ホントクイズの答えと解説

- 1 ☒ ウソ イタリアとギリシャの間には、クロアチアを含む7つの国がありますが、(上図水色の国々)このうち、アルバニアを除く6カ国が、1929年から1990年までは、様々な変遷はあるものの1つの国「ユーゴスラビア」でした。(→ P. 24)

- 2 ☒ ホント クロアチア語で「山風」を意味する「bura」(ブーラ)は、海岸地方特有の強風で、最大で時速200km(風速56m/s)にもなる風が、冬になると吹き荒れます。クロアチアは日本と同様に四季があります。「春は4~6月、爽やかな日が続き日中は長そでシャツ1枚でもいーくらい。夏の7~9月、前半は日差しが強いが、空気が乾燥して過ごしやすい。秋の訪れは遅く、9月後半も爽やかな日が続く。10月に入ると長そでの上に上着が欲しくなり、11月から日が短くなり、冬の寒さは2月まで続く。内陸部は寒さ厳しく、沿岸部は雨が多い。」といった具合です。



岩田佳子

- 3 ☒ ウソ クロアチアは、6つの世界遺産をもち、「地上の楽園」「アドリア海の真珠」と呼ばれるドゥブロヴニクを擁し、西欧だけでなく、世界中から観光客が集まる、人気が高まりつつある観光地です。詳しくは、次のページへ!

- 4 ☒ ホント クロアチア人は高身長で有名です。平均身長は男性が184~186cm女性が174cmというデータがあります。日本人の最近の結果でも男性172cm、女性159cm程度であり、男性で10cm以上、女性で15cm以上高くなっています。身長にあわせて設備や家具も作られるため、日本人がクロアチアを訪れた際、ドアノブや洗面鏡の位置、トイレの座椅子、吊革も「高い!」と感じます。

- 5 ☒ ウソ おしゃべり好きで陽気な国民です。会話こそが一番の娯楽で、見知らぬ人とも関係なく道端で、カフェで、普通に雑談が始まります。男性もおしゃべり好きが多く、友人とカフェに入れば一杯のコーヒーで2~3時間は当たり前のようにしゃべり倒します。「余暇に、どのくらい友人と会いますか。」というアンケートでも、「毎日」+「週に数回」という割合が79%と高いです。また、クロアチア人はすぐに感情的になりやすくちょっとしたことでカッとなる、いい意味で「自分の意見をはっきり主張する」国民と言われています。

- 6 ☒ ホント マークは昔の馬車での集配で、郵便が来たことを住民に知らせていたホルンをイメージしています。郵便局にラッパのマークを用いるのはヨーロッパではよくみられます(チェコ・スペイン・オーストリア・ハンガリー等)。



岡本和雄

見たい！知りたい！クロアチア～歴史と自然と産業を訪ねて～



クロアチアの世界遺産、美しい自然環境、生活を支える産業を知る旅に出かけてみよう。

クロアチア各地の写真と解説文を使って、クロアチアについてさらに知ろう！

共通

机を囲んで4～6人で座り、グループでワークをします。
机の中央にクロアチアの地図を置き、次のワークを行います。



ワーク 1

P.8～10の写真を別々に切り取り、地図の該当場所の近くに置きます。写真を眺めて、「一番訪れたい所」あるいは「一番印象的だった所」はどの写真で、それはどうしてか、感想を話合ってみよう。その後、解説を順番に読み上げて、写真の内容を確認した後、もう一度、選び直してみて、理由を伝え合おう。

ワーク 2

P.8～10の写真のみ（キャプションは切り取る）と解説を別々に切り取り、写真は地図の周りに広げ、解説部分は各自1～2枚ずつ担当し、内容を読んだ後、解説がどの写真とマッチしているかグループで相談しながら当てよう。

ワーク 3

ワーク1または、ワーク2を行った後、そこからクロアチアについてわかったこと、特徴的だなと感じたことなどをグループで出し合い、それを基にクロアチアを伝えるキャッチフレーズを考え、理由をつけて全体で発表しよう。





A ドゥブロブニク旧市街



ウィキペディア

A ドゥブロブニク旧市街

紺碧のアドリア海に突き出し、ぎっしりと並んだオレンジ色の屋根を頑丈な城壁でぐるりと囲んだドゥブロブニク旧市街は、その美しさから「アドリア海の真珠」と呼ばれています。

町を囲む城壁は、8～17世紀の間に長い年月をかけてつくられたもので、一周が約2km、幅が3～6m、高いところで約25mの高さがあります。



B 首都ザグレブ



ウィキペディア

B 首都ザグレブ

クロアチアの首都で、同国最大で東欧有数の世界都市です。1994年に900年記念を祝ったザグレブは文化的・歴史的モニュメント、博物館および美術館が豊かであるばかりでなく、さまざまなモダンな店が立地し、高い品質の多様なレストラン、スポーツ施設、レクリエーション施設もあります。ザグレブの歴史的地域であるアップータウンとカプトルは、ヨーロッパ的に見てもユニークな市街中核であり、代表的な観光旅行の目的地になっています。



C 天空の町モトヴン



クロアチア政府観光局

C 天空の町モトヴン

クロアチアの内陸部（イストラ半島）に位置する800年の歴史のある町です。海拔277mの小高い丘の上に立つ人口1,000人足らずの小さな町で、丘の麓の森が霧に包まれるとまるで天空に浮かぶ町のようなようです。『天空の城ラピュタ』のモデルとも噂されています。丘の頂上には聖ステファン教会がそびえ立ち頂上を取り囲むように城壁があります。麓のモトヴンの森は、樫の木が多く、その根元や湿った土壌にトリュフが育ちます。別名「トリュフの森」と呼ばれる産地で、夏から秋は黒トリュフ、晩秋は白トリュフが採れます。



D スタリーグラード平原

D スタリーグラード平原

クロアチア語で「古い町」を意味し、フヴァル島で最も古い集落です。紀元前4世紀に古代ギリシャ人が農地を求めて移り住んで以来、ブドウやオリーブを作り続けてきました。島は元々石ころだらけの土地でしたが、古代ギリシャ人はその石を農地の境界線を作るのに利用しました。その石壁は今も農業に役立っています。フヴァル島ではその長い日照時間とカラリとした気候を上手に活かして、ローマ時代からラベンダーを栽培しています。収穫の時期になると島全体がラベンダーの香りに包まれます。

 クロアチア政府観光局



E プリトヴィツェ湖群国立公園

E プリトヴィツェ湖群国立公園

200km²もの広大な森に、数十万年という長い年月をかけてつくられた大小16の湖と92か所の滝が美しい風景をつくり出しています。湖の底に広がる「石灰華」と呼ばれる白い石のようなものが水を浄化させ、湖の水は底が見えるほど透明で、岸边にたくさんの小さな魚たちが泳いでいる様子が手に取るようにわかります。公園内にはブナやモミなどの自然林やたくさんの草花が育ち、野生のクマやオオカミ、珍しい鳥類などが多く生息しています。

 ウィキペディア



F 古都ニンの塩田

F 古都ニンの塩田

ダルマチア地方ザダルの北、ラグーン（潟）に浮かぶ小さな島。古都ニンの塩は古代ローマ時代より「白い金」と呼ばれ、バルカン半島内陸部に向かって塩の道が作られていました。最古といわれる塩田で、少なくとも紀元前1世紀につくられ、現在もそのまま変わらず使用されています。海水を製塩できる濃度まで太陽と風の力だけで1年程かけて濃縮して塩を精製します。日本でも、古都ニンの塩「フラワーソルト」として購入することができます。（※写真はストンの塩田）



G ガレシュニャク島
「ハートアイランド」

G ガレシュニャク島
「ハートアイランド」

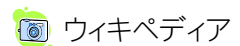
クロアチアには、大小の島や岩礁が1,000個以上もあるといわれています。このうち、ダルマチア地方の都市ザダルの南に浮かぶ「ガレシュニャク島」は、「世界で一番完全なハート型に近い形をしている島」といわれています。個人所有の無人島で、島の周囲は約1.5km、面積は約132km²です。その形から別名「Lover's Island (恋人たちの島)」ともいわれ、恋人とバカンスを楽しんだり、プロポーズの場、ハネムーンの間としても人気と注目をあつめています。



H ビシェヴォ島
「クロアチアの青の洞窟」

H ビシェヴォ島
「クロアチアの青の洞窟」

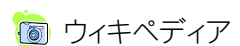
青の洞窟といえばイタリアのものが有名ですが、クロアチアにもアドリア海に浮かぶ小島ビシェヴォ島にあり、「モドゥラ・シュピーリャ」(クロアチア語で「青い洞窟」の意)と呼ばれています。その不思議な青い光は晴れた夏の日の午前11時から正午頃にだけみられる現象で、太陽光線が海底に反射して海中を通過して届くため、海水の青さを照らし出し海面が青く輝きます。ビシェヴォ島はクロアチア沿岸の島の中でも最も離れた島のひとつで、知る人ぞ知る神秘の島です。



I ブラチュ島
「最も美しいビーチと採石」

I ブラチュ島
「最も美しいビーチと採石」

ブラチュ島の「ボル」という街のビーチは、クロアチア語で「ズラティニ・ラット(黄金の角)」と呼ばれ、南端に突き出した岬を頂点に、二等辺三角形のような形をしています。また、同島は、石灰岩の採石と加工が生業のひとつで、いたるところに採石場や石工場があります。石工職人学校もあり、世界中から石工職人を目指す人たちが集まってきます。この島から採石された石が、古くはスプリトの世界遺産ディオクレティアヌス宮殿、新しくはアメリカのホワイトハウスに使われています。



教えて！マルコ君 ～クロアチアってこんな国～



クロアチア人のマルコ君と一緒にクロアチアの生活を疑似体験してみよう。



マルコ君

下の写真A～Fについてのエピソードは①～⑥のうちどれでしょう？
さらに①～⑥のエピソードの中の空欄をうめてみましょう。さあ、始めよう！

1

ぼくのパパはママにこれをプレゼントして告白したんだって。ハートの真ん中には がついていて、「私の心の中にはいつもあなたが映っています」という意味があるんだって。

A



2

今日はおばあちゃんと一緒に市場に行くよ。おばあちゃんはいつも市場で手編みの と刺繍のついたテーブルクロスを売っているんだ。市場はだいたいいつも朝7時頃からお昼の3時くらいまでやっているよ。

B



3

ぼくはママにたのまれて市場の魚屋さんにおつかいにきたよ。イカ、タコ、ホタテ、タイ、イワシにマグロも!! 新鮮な魚介類がたくさん並んでいるよ。魚屋さんのおばあちゃんの口癖は、「魚は三度 」一度目は海で、二度目はオイルで、三度目はワインで。

C



4

ぼくもパパもサッカーが大好き! パパの友だちもぼくの友だちもみんなサッカーが大好き! クロアチア代表の試合がある日は町に赤と白のチェック柄のユニフォームを着た人たちがあふれるんだ。このユニフォームの柄は がモチーフになっているんだよ。

D



5

ぼくもママもアイスクリームが大好き! 町にはアイスクリーム屋さんがたくさんあるよ。ショーケースの中には何十種類ものアイスクリームが並んでいるからいつもどれにしようか迷っちゃうんだ。そんなときにはこのひと言! “ボラボラ” “ボラ ストロベリー ボラ チョコレート”で、「ストロベリーとチョコレートの 」という意味なんだ。1度に2つの味がたのしめるなんてうれしいよね!

E



6

ぼくは乗り物が大好き! クロアチアの首都ザグレブには“トラム”という路面電車と世界一 ケブルカー“ウスピニャチャ”があるんだよ。トラムにはいろんな広告デザインのものがあるけどぼくのお気に入りには青色のトラムなんだ。ウスピニャチャは長さがたった66m。乗ったら30秒でもう到着。でもザグレブの旧市街と新市街を楽々移動できる便利な乗り物なんだよ。

F



1 **D** **a** : 鏡

「リツィタル・サルツェ」とよばれる飾り物です。首都ザグレブ周辺では愛の象徴として親しまれています。ハート型にくり抜いたはちみつ入りのクッキーを、男の子が好きな女の子に心をこめて贈るのが伝統的。昔は食べられましたが、今はわざと固く焼いて蜜蝋やゼラチンなどでコーティングしてクリスマスツリーなどの飾り物、贈り物として使われています。お土産としても人気です。

2 **E** **b** : レース

クロアチアのレース編みは、その技術の高さからユネスコ無形文化遺産にも登録されています。特にレボグラヴァ、パグ島、フヴァル島でつくられるレースは300年～500年以上もの歴史があり、古くからの伝統文化として各家庭に受け継がれています。道端で編み物をする女性もよく見かけられ、民家の軒先にはきれいなレースが並べられています。クロアチアの民族衣装にもレースがたくさん使われています。

クロアチアでは青空市場をよく見かけます。新鮮な野菜や果物、チーズや生ハム、花や古着、レースや土産物などを売る露店が並び活気にあふれています。



📷 岩田佳子

📷 岡本和雄

3 **F** **c** : 泳ぐ

アドリア海に面したダルマチア地方では「魚は三度泳ぐ」と言われています。「一度目は海で」はもちろん海で泳ぐ魚のこと。「二度目はオイルで」はクロアチア料理には欠かせないオリーブオイルのこと。魚を焼いたり、炒めたり、オイル漬けにしたりして使います。「三度目はワインで」はクロアチアの名産でもあるワインのこと。クロアチアの食卓にワインは欠かせません。夏の暑い日はワインを薄めて水代わりに飲んだり、ワインをコーラや炭酸ジュースなどで割って飲むこともあるのだとか。そのくらいクロアチアの人にとってワインは身近なものなのです。

4 **A** **d** : クロアチアの国旗

クロアチアではサッカーは最も人気のスポーツ。代表戦がある日は町に国旗の赤白チェックのユニフォーム姿の人たちであふれかえるくらい。クロアチアではクラブチームの試合より断然クロアチア代表(ナショナルチーム)の試合のほうが盛り上がり、応援にも熱が入ります。それはひとつに愛国心の表れともいえます。クロアチア代表は日本と1997年のキリンカップ、1998年のワールドカップフランス大会、2006年のワールドカップドイツ大会で対戦しています。



📷 ウィキペディア

5 **B** **e** : 半分半分

クロアチアでは子どもも大人もアイスクリームが大好き。子どもよりも大人の方がうれしそうにアイスを食べている姿もよく見かけられ、春・夏のシーズンでは1日に3個以上アイスを食べる人も多いのだとか。

6 **C** **f** : 短い

トラムは首都ザグレブ市街を中心に17の路線があり、切符は8クーナ(約180円)で90分の有効時間内なら乗り降り自由。大切な市民の足として多くの人たちに利用されています。トラムは青一色が基本カラーで、それをベースに広告デザインが描かれているものもあります。

クロアチアの学校生活 あるコト！？ないコト！？



①～⑨のクロアチアの学校生活についての記述はあるコト？ それともないコト？ 日本と比べてどうかな？

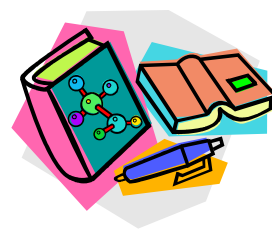
① クロアチアの義務教育は、小学校6年、中学校3年の9年間です。



② クロアチアの小学校では1年生からみんな英語を勉強します。



③ クロアチアでは高校まで授業料は無料です。



④ クロアチアの学校の夏休みは7月～8月の約1ヵ月間です。



⑤ クロアチアの学校は二部制になっており、午前と午後で生徒たちが入れ替わります。



⑥ クロアチアでは、義務教育を終える歳(14歳)になると、将来の夢を決めて職業高校に進学する子が大半です。



⑦ クロアチアの高校には入学試験がありません。



⑧ クロアチアの学校では制服はなく、髪型もパーマ、ヘアカラー、ピアスも自由です。



⑨ クロアチアでは高校生で3ヶ国語を話せる子は珍しくないです。





- 1 **×**
ないコト クロアチアの学校制度は8・4・3制です。
義務教育は6歳から14歳までの8年間で、小学校と中学校の一貫教育です。
高校は普通高校が4年制、職業高校が3年制、大学は3年制となっています。

- 2 **○**
あるコト 英語は小学1年生～高校4年生まで必修です。

- 3 **○**
あるコト クロアチアでは高校まで授業料が無料のため、
高校進学率も70%と非常に高いです。



高校の音楽祭風景

- 4 **×**
ないコト クロアチアの夏休みは6月20日～9月上旬の2ヶ月半です。この長期休暇を利用して、
多くの生徒が家族や友だちとアドリア海沿岸の保養地に出かけたり、英語の語学講座
を受講したりします。ちなみに、冬休みは12月下旬～1月中旬、春休みは4月中旬に約
10日間あります。

- 5 **○**
あるコト クロアチアでは学校の数がないため、同じ校舎を2つの学校が共有し、午前と午後で
分けている場合や、1つの学校でも学年ごとに午前と午後で分けている場合があります。
日本でも第二次世界大戦後に教室不足のため、二部制をとっていた時期がありました。

- 6 **○**
あるコト クロアチアでは義務教育を終えると、4年間の普通高校または3年間の職業高校に進
学します。大学進学を希望し、普通高校に進む生徒は全体の3割程度で、高校卒業後
に働くことを前提として職業高校を選ぶ生徒が大半です。職業高校には観光科や調
理科、レストランサービス科、農産科などがあります。

- 7 **○**
あるコト 高校の入学試験は無く、定員と応募者数の関
係と、義務教育課程の成績で合否が決まります。



登校風景

- 8 **○**
あるコト クロアチアでは服装、髪型、化粧等が校則で制
限されておらず、自由が認められています。また、
喫煙については国で定められた年齢制限がない
ため、校則で学校の敷地内での喫煙を禁止して
いるところもあります。

- 9 **○**
あるコト クロアチアでは第二外国語の履修を必須としている高校も多く、ドイツ語、イタリア語、
フランス語、スペイン語等を履修できます。近年では、日本からの観光客が増えている
事から、簡単な挨拶程度の日本語を教える学校もあります。



ちょっとブレイク

「クロアチアにしかない料理は存在しない!？」



& 甘い誘惑 スイーツ特集」

クロアチア料理はその昔、イタリア・オーストリア・ハンガリー・トルコの支配下にあったという歴史や地理的にも近隣の国々の影響をうけているものが多いです。「クロアチアにしかない料理は存在しない!？」といわれるのはそういった背景があるからです。基本的にアドリア海沿岸はイタリア色が強くシーフードやパスタ、リゾートなどが多く、内陸部では肉料理が多く、特にオーストリア・ハンガリーの影響を受けた料理が多いようです。

近隣の国々がルーツのクロアチア料理3品の紹介！



「グラシュ」

これはハンガリーに近い東北クロアチアで食べられるお肉の煮込み料理です。もともとハンガリー生まれの料理でドイツ・オーストリア・ポーランドなどでも食べられているそうです。ビーフなどのお肉を玉ねぎ、じゃがいもなどの野菜と一緒にパプリカを効かせたスープで煮込んで作るシチューのようなもの。トマトや赤ワインベースのものもあり、パスタやニョッキ、ライスを添えて食べます。



「サルマ」

これはいわゆる「ロールキャベツ」。トルコ人が残していった料理といわれています。お米入りのミンチ肉を塩漬けしたキャベツで巻いてベーコンやくんせい肉と一緒にぐつぐつ煮込むおふくろの味。寒い時期に食べることが多く、クロアチアの家庭では毎年秋になると一斉にキャベツを買い込み、翌年の春まで食べる分のキャベツを塩漬けにするのだそうです。年末に数日分まとめてサルマを作っておき、新年に食べるという風習もあります。



「ザグレブ風シュニツェル」

シュニツェルはドイツ・オーストリアの肉料理。薄く叩いたお肉にパン粉をつけてバターかラードで揚げ焼きにしたものをウィーン風シュニツェルといいますが、ザグレブ風シュニツェルはひと味違ったカツレツ。薄く伸ばした豚肉にチーズやバター、ハムなどをはさんで巻いてあります。付け合わせにはじゃがいも(マッシュポテト)が定番。じゃがいもはパン・パスタ・米(リゾート)と並んでクロアチアの主食で、じゃがいも消費量は日本の約3倍! ジャムなどと一緒におやつで食べることもあるのだとか。一度試してみたいはいかが?

甘い誘惑 ♡ クロアチアのスイーツ特集

「美食の国」とも言われるクロアチア。甘い誘惑スイーツもちろんあります! そのほんの一部をご紹介します



ダルマチア風プリン (ロジャータ)



クレームシュニテ



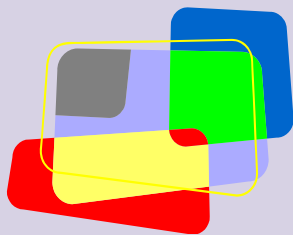
パラチンケ





第2章

へえ～！クロアチアと日本



知らなかった！！`実はクロアチアなんです”

① 日本の中のクロアチアを発見しよう！

次のものは日本でおなじみのものですが、実はクロアチアと深いつながりがあります。
下の1～5及びア～オの文章はA～Eのどのイラストのことを言っているでしょう？ 線で結んでみよう！

回転寿司屋さんでも人気者！
大型の赤身魚



A ダルメシアン

クロアチアが発祥の地

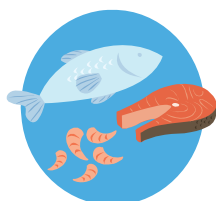
英語では「メカニカルペンシル」
消しゴムで消すことができ、芯がなくなると入れ替えて使います



B ネクタイ

クロアチア人が発明した

「101匹ワンちゃん」でおなじみ！
白い毛並みに黒や茶色のスポット(斑点)の模様が特徴の犬



C マグロ

クロアチアでは心のケアにも効果があるとして採り入れられている

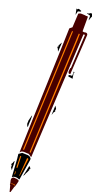
男性のオシャレはコレで決まる！
スーツやタキシードを着る際に首に巻いて結ぶもの



D 俳句

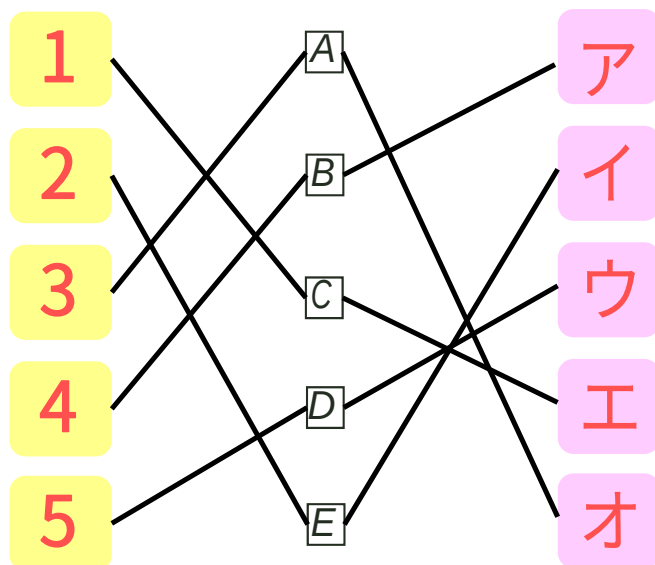
クロアチアで獲れたもののほとんどは、日本へ輸出している

世界最短の詩！
季語を用いて、五・七・五で詠む日本の伝統文芸



E シャープペンシル

クロアチアのダルマチア地方からとられた名前といわれている



ウィキペディア

A ダルメシアン

ダルメシアンはクロアチアのダルマチア地方からとられた名前だと言われています。もともとは猟犬ですが、戦場などで番犬としても有能な働きをしたと言われています。現在は、アドリア海沿岸のダルマチア地方や、首都ザグレブの公園などあちこちでダルメシアンを連れて歩く婦人の姿を目にすることができます。

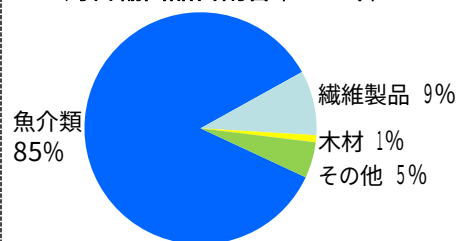
B ネクタイ

ネクタイはクロアチアが発祥の地です。17世紀前半の30年戦争の頃、女性は愛する人の首に赤いスカーフを巻いて戦地へ送り出しました。「無事に帰ってこられますように」との祈りを込めたものです。それがフランス人の目にとまり、ルイ14世の時代には「cravate」（「クロアチア人の」という意味）と呼ばれ、世界中に広まっていきました。現在でもフランス語では「ネクタイ」を「cravate」と呼びます。

C マグロ

クロアチアでは本マグロの養殖（小さいうちに捕まえて生け簀（いけす）で太らせる養殖）が盛んで、そのほとんどを日本へ輸出しています。また、クロアチアから日本へ輸出する品目の85%がマグロ（魚介類）です。なお、クロアチアでは生でマグロを食べることはなく、グリルにして食べるのが人気のようです。

対日輸出品目割合（2004年）

**D** 俳句

クロアチアでは内戦（クロアチア紛争1991年～1995年）で傷ついた人々の心のケアに俳句が有効であるとして、クロアチア俳句協会が俳句の普及に力を入れました。ハイク・コンテストが国内各地で開催され、俳句の国際大会においてもクロアチア俳人の入賞率が最も高いそうです。俳句はひらがなでというわけにはいかないので、クロアチア語の母音で五・七・五の韻を踏みます。

Jutros iznikla
iz sjemenke zivota
nada za sutra.

今朝、生まれた
生命の種
明日への希望。

俳人 Silviya Butkovic



世界俳句協会

E シャープペンシル

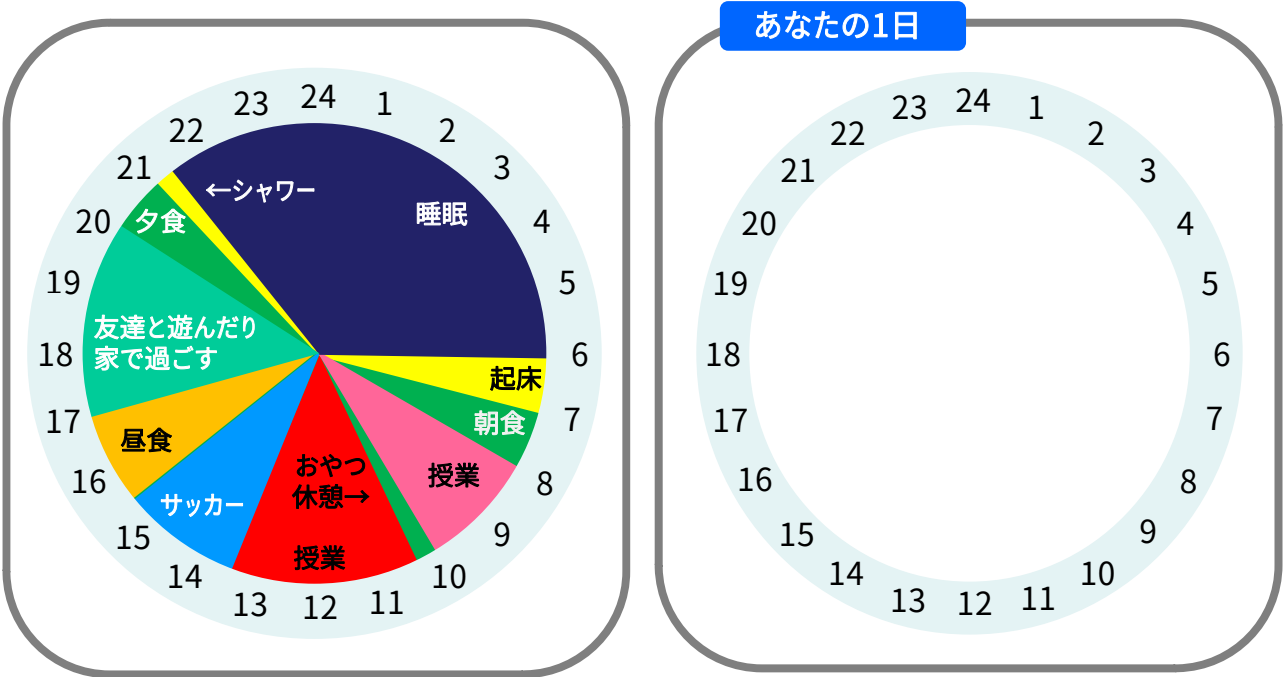
シャープペンシルは、クロアチア人のペンカラが発明したものです。彼は会社勤めをするかわら、様々な発明をし、特許を申請していきました。そして、1906年にシャープペンシル、翌年には万年筆で特許を取得しました。その後、これらの筆記用具の工場を設立し、世界へ広めていきました。

教えて！マルコ君 Part 2 ～クロアチアの学校生活～



クロアチアの学校生活を知り、日本の学校生活と比べてみよう。

1日のスケジュールを円グラフにしてみよう！
20ページの「マルコ君の1日」と下の円グラフを参考に「あなたの1日」の円グラフを完成させてみよう。



マルコ君の1日の生活スタイルと自分の生活スタイルとを比べてみよう！
20ページの「マルコ君の1日」と①の2つの円グラフをみて、自分の生活スタイルと似ているところ、違うところを下の表に書き出してみよう。それぞれ書き出したものをみんなで発表し合おう！

似ているところ	違うところ

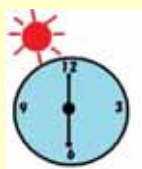
3 マルコ君の1日と日本のみんなの1日を比べて、わかったこと、気づいたこと、印象に残ったことをみんなで発表し合ってみよう！



クロアチアのマルコ君の1日 ～生活スタイル～



ぼくの名前はマルコ。10歳。
ザグレブの学校に通っているよ。



おはよう! “ドブロ ユートウロ!”
学校のある日はだいたい6時に起きて朝ごはんを食べて学校に行くよ。学校は朝8時から授業が始まるからね。



朝食風景



朝ごはんにはいつもだいたいパンにハムやチーズ、バター、ジャム、ハチミツなんかをのせて食べているよ。ちなみに、ぼくのお気に入りはいちぢくのはちみつ漬けさ! う〜ん美味しい! “ドブロ!”



ぼくは毎日歩いて登校するけど、家から学校まで遠い子たちはお父さんやお母さんに車で送り迎えしてもらっているよ。



授業風景



8時から授業が始まって午後1時頃には授業はおしまい。昼休みはないけど、そのかわり10時くらいに一回20分間のおやつタイムの休憩があるよ。朝が早いからこの時間はちょうどお腹がすく頃なんだよね。みんなサンドイッチなんかを食べているよ。



授業が終わったら友だちとサッカーやバスケットボールをしたりして過ごして、午後3時くらいにお家に帰ってくるよ。



パパも仕事がいいたいそのくらいに終わって家に帰ってくるから、午後4時くらいには家族そろってランチタイム。パパやママはワインやビールを飲んだりするよ。ぼくは飲めないからジュースで乾杯! “ジヴィェリ!”
昼食が1日の食事のうちで一番豪華だから、晩ごはんはお腹がすいていたら夜8時くらいに軽めにとるくらいかな。パパやママはお酒を飲みながらおつまみで済ませていたりするよ。パンにチーズ、生ハム、ソーセージ、オリーブだったり、サラダやピザなどを食べたりもするよ。



次の日も学校だと朝早いから9時頃シャワーを浴びて10時くらいに寝るんだ。ぼくは夜寝る前にシャワーを浴びることが多いけど、朝シャワーを浴びることもあるよ。ぼくの友だちのなかにも朝シャワーを浴びるっていう子がけっこう多いんだよ。じゃあ、おやすみなさ〜い! “ラク ノーチ!”



ちょっとブレイク 「見つけた！クロアチアの中の日本」



これらは、クロアチアの街中でよく見かけるものです。



マリオのTシャツ。日本のゲームやアニメはクロアチアでもポピュラーです。『ドラゴンボール』や『NARUTO』などはテレビで放映されています。

また、日本の漫画を見て日本に興味を持ち、日本語の勉強をする大学生も増えてきています。



日本で大人気のキティちゃんはクロアチアでも人気！棒アイス、カバン、Tシャツ、靴下、ぬいぐるみなどのグッズがたくさんあります。



「MIKADO」という名前のチョコレート。クロアチアのどこのスーパーにも置いてある、とてもポピュラーなものです。パッケージには稲作の絵や、着物姿の女性の絵などが描かれています。



「SAMURAI」という名前のつまようじ。この他に「SAYONARA」という名前のつまようじもよく目にします。歯に詰まったものを掃除する他に、果物やオードブル、おつまみ等を刺すのにもよく使われています。

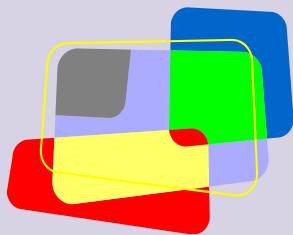


てりやきソース、しょうゆ、すし酢など日本の調味料もスーパーに並んでいます。



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



「クロアチア紛争」の悲劇を乗り越えるために その1



この地域で起きた紛争の原因を考えよう!

- ① クロアチアが1991年まで属していたユーゴスラビアは、地域紛争を経て複数の国に分裂し、現在に至っています。紛争の要因にもなった多様なものが混在しているこの地域の象徴的な1~7の数字は何をかぞえたものでしょうか。2~7の数字に当てはまる言葉を右の枠から選びましょう。

7つの	
6つの	
5つの	
4つの	
3つの	
2つの	
1つの	国家(ユーゴスラビア)

文字

民族

宗教

言語

共和国

国境



- ② 1991年~1995年の間に起きた「クロアチア紛争とは?」の内容を読み、紛争の主な当事者であるクロアチア人とセルビア人の言い分を、2チームに分かれてそれぞれ読み、相手側にその言い分を伝え合いましょう。そのうえで、次のことを考えましょう。

- (1) 相手側の言い分を聞いて、どんな気持ちでしたか。
- (2) クロアチア紛争が起き、続いたのはなぜか。

クロアチア紛争とは?

クロアチア紛争は、1991年から1995年にかけて、ユーゴスラビアからの分離独立およびクロアチア人とセルビア人の民族対立をめぐる紛争です。

ユーゴスラビアは第二次世界大戦後、チトー大統領のカリスマ的なリーダーシップのもとで、複数の民族が同居する国家でしたが、1980年にチトー大統領が死去すると、民族の結束は大きく揺らいでいくことになります。

ユーゴスラビア成立当初から、その人口の約40%を占めていたセルビア人は政治の中心的存在で、チトーの死後セルビア民族主義の傾向が強くなってきたことに不満をつのらせていた各民族が、同胞が多く住む地域を領土として独立を宣言しはじめました。クロアチア人も1991年に独立を宣言しましたが、独立宣言領土内に多くのセルビア人が住むセルビアの反対にあい、多くの悲劇を生む紛争となってしまいました。

この紛争では多くの女性や子供たちが犠牲になりました。「女性は子どもを産む。子どもは将来成長して兵士となる。」という論理で女性や子どもたちが多数虐殺されたのです。また、クロアチア人とセルビア人が混住していた地域では元々隣同士で住んできた住民が、民族の違いというだけで互いに銃を向け合わなければならない事態となりました。



クロアチア紛争で最も戦闘が激しかった街の一つ
ヴコヴァル (1991年撮影)



- 7つの 国境 (イタリア、オーストリア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、ギリシャ、アルバニア)に囲まれ
- 6つの 共和国 (スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビア、モンテネグロ、マケドニア)、
- 5つの 民族 (セルビア人、クロアチア人、スロベニア人、モンテネグロ人、マケドニア人)、
- 4つの 言語 (セルビア語、クロアチア語、スロベニア語、マケドニア語)、
- 3つの 宗教 (セルビア正教、ローマカトリック、イスラム教)、
- 2つの 文字 (ラテン文字、キリル文字)を
- 1つの 国家 (ユーゴスラビア)にしたとされています。

この地域の人々はもともと「南スラブ人」という同じ民族だったのですが、長い歴史の中でそれぞれが大国の支配下に入り、長年にわたりその影響を大きく受けてきたことで、違う言葉、宗教、文字をもつようになっていました。第一次世界大戦を経て、「南スラブ人の国を作ろう」ということでユーゴスラビアという国ができましたが、多くの「違い」の中で仲良く暮らしていくのは簡単なことではありませんでした。



1945～1990年の地方行政区分

クロアチア人の言い分カード

<セルビア主導の国家運営>

第一次世界大戦の頃から、ユーゴスラビアはセルビア主導で、政府の要職もセルビア人で占められていた。国をセルビア人に牛耳られてきた!

<人種弾圧はドイツ傀儡政権の仕業>

第二次世界大戦の時にセルビア人を弾圧したのは、ドイツの影響下にあった独裁傀儡政権のせいで、セルビア人への過激な弾圧政策を支持できないと思い不満を持つクロアチア人も大勢いた!

<独立前の解決提案の破棄>

独立前に、独立意向のある他のユーゴスラビアの共和国とともに、連邦制度を廃止し、欧州共同体のような国家連合に転換するよう提案したが、セルビアはあくまでも連邦の維持に固執したため、提案が白紙になった。

<セルビア人の領土の取り分が過大>

クロアチアのセルビア人の自治組織が、共和国設立を宣言したが、クロアチア領土の1/3の面積を占めており許せない。クロアチアよりも広い領土のセルビアに戻ればよい。

*1 傀儡政権: 表面上は独立しているが、影で他国など他の勢力にあやつられ、強い支配や統制に置かれている政権のこと

セルビア人の言い分カード

<第二次世界大戦中の人種弾圧>

クロアチアは、第二次世界大戦の時に、ヒトラー率いるドイツに組みし、ヒトラーの人種政策を見習って「セルビア人は劣等な人種である」と宣伝し、セルビア人を弾圧し、収容所をつくり虐殺した!

<多数派の権利の阻害>

ユーゴスラビアでは1974年の憲法で、6つの共和国と2つの自治州の間で平等な発言権を認めていたが、これに対してセルビアではユーゴスラビアを最も多く構成するセルビア人の権利が阻害されているとして不満がくすぶっていた。

<独立宣言領土に多くのセルビア人>

クロアチアが独立宣言した領土のうち、クロアチア地域に多くのセルビア人(人口の12%、約60万人)がいた。この地の住民投票では90%がセルビアへの編入を希望していたのに、そこを併せて領土とするのはおかしい。

<セルビア人の虐殺と領土の収奪>

クロアチアは、国連等の和平案に譲歩の姿勢を見せつつ、クロアチアのセルビア人支配地域に軍を侵攻させ、婦女子を2,000人以上虐殺し、15～20万人を難民化させ、領土を無理矢理奪い取った。

「クロアチア紛争」の悲劇を乗り越えるために その2



この地域で起きた紛争を1個のミカン争奪ケースから考え、対立のより良い解決策を探ろう!

- ① オレンジが1個あるとします。このオレンジを丸々1個食べたいと思っている2人の男の子がいます。2人の男の子は、以前ケンカしたことがあり、仲が良いとは言えません。1個のオレンジをめぐる結末として、次の考えられるケースについて、自分がその男の子だとしたらどんな気持ちがしますか。

- (1) 取り合いになり、力づくで相手に奪われ、食べられてしまった。
- (2) 取り合いになり、自分が力づくで奪い、食べた。
- (3) 1個食べたい気持ちを抑えて、半分ずつにして食べた。
- (4) ケンカは嫌なので、相手に丸々1個譲った。



- ② 上記4つは、どちらかが得をする、または損をする、あるいはガマンするという結果をもたらしますが、どちらも満足する方法はないでしょうか。その方法を考えよう!

2人の男の子の
どちらも満足する方法



- ③ P.26の「クロアチア独立宣言からクロアチア紛争の最終的な解決? まで」を読んで、感じたことを話し合しましょう。

- ④ P.27の「超越法」について、資料を読む、または説明を聞いたうえで、クロアチア紛争のケースでは、どうすることが超越的な方法であったか、アイデアを出し合しましょう。

「超越法」による
クロアチア紛争の
解決のアイデア



- ⑤ 「超越法」とは別の視点の解決方法として、P.28の「ホーポノポノ」を読んでみて、この方法を実際にやってみたら、クロアチア紛争が解決できたかどうか、話し合しましょう。



クロアチア独立宣言からクロアチア紛争の最終的な解決？まで

クロアチア独立宣言

1990年12月に制定されたクロアチア共和国憲法の中でクロアチアの自決権と国家主権を規定。公用語をセルビア・クロアチア語からクロアチア語に変更、キリル文字の使用を禁止、ラテン文字の使用へ。クロアチア警察軍を創設。1991年6月19日には独立の可否を問う国民投票が実施され、独立に78%の住民が賛成。これを受けて6月25日にユーゴスラビアからの独立を宣言した。

独立宣言後の戦闘

独立宣言以降、クロアチアで散発した戦闘は、クロアチア警察軍とクロアチア国内に残留したセルビア人住民の間で行われたが、9月22日にユーゴスラビア連邦軍（実質セルビア軍）がザグレブを襲撃するに及び、クロアチアとセルビア軍の戦闘に発展、紛争の本格化が始まった。特にクロアチア人とセルビア人が混住したスラボニアでは戦闘が過激で、中でもヴコヴァルでは87日間にわたって市街戦が展開され、双方で3,000人近い死者を出した。

セルビア人居住区の共和国設立宣言

12月にドイツがクロアチアの承認を行うと、これに反発したセルビア人住民の二つの自治組織「クライナ・セルビア人自治区」と「スラボニア・バラニャ・西スレム自治組織」は連合して「クライナ・セルビア人共和国」の設立を宣言した。同共和国は、クロアチア国内の1/3の面積を占めており、これを認めることはクロアチアにとって難しい選択であった。

国連軍の介入

1992年2月に国連の安全保障理事会の決定でクロアチアへの平和維持軍（PKF）が派兵されたが、互いに民族主権を主張しあう民族問題の最終的な解決には至らず、以降もクロアチアとセルビアの間で戦闘が散発した。



岩田佳子

最終的な解決？「嵐作戦」

最終的に「解決？」したのが、クロアチアによる「嵐作戦」であった。1995年になるとクロアチアは、国際連合等が提示するセルビア人勢力に一定の自治権を認める和平案に対して譲歩の姿勢を見せ時間を稼ぐ一方で、セルビア支配地域に展開するPKFの活動期限切れに伴う早期の撤退を強く促していた。

PKFの活動規模を縮小することが同意された直後の5月にまず、クロアチア軍は西スラボニアを急襲、セルビア人の追い出しにかかった。続く8月3日から始まった「嵐作戦」ではクライナ・セルビア人共和国の首都クニンを目指して侵攻。わずか3日間の戦闘で占領した。この時の死者は、クロアチア側の公称で約150人、セルビア側発表では最低でも婦女子を主体とする2,600人が虐殺されたとされる。セルビアに流出したセルビア人難民は15～20万人と見積もられている。この作戦を指揮したクロアチア軍将軍アンテ・ゴトヴィナは、「最小限の人的被害で、クロアチア国内のセルビア人問題を解決させた」英雄としてクロアチアでは祭り上げられたが、一方で大量虐殺と大量の難民を生み出した事により旧ユーゴスラビア国際戦犯法廷から訴追された。西スラボニアとクライナの喪失により、クロアチア国内のセルビア人は圧倒的な少数に転落した。セルビア共和国と国境を接している東スラボニアには未だセルビア人勢力が残留していたが、1995年11月11日に、同所のセルビア人勢力が東スラボニアを放棄することでクロアチアとの合意が成立した。

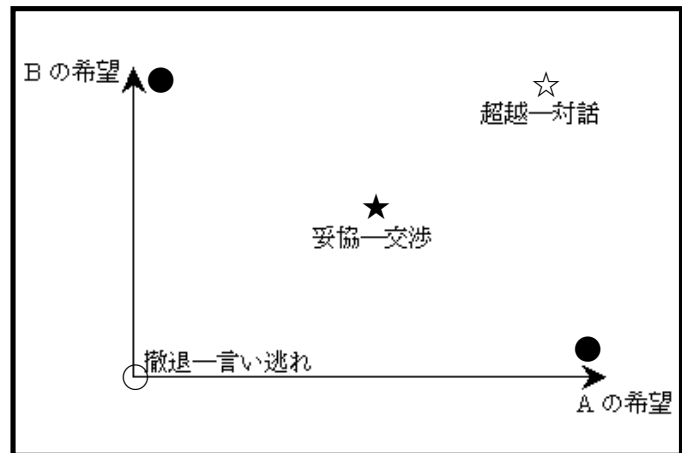


ウィキペディア



超越法 (トランセンド法)

もし、2人ともオレンジまるまる1個を手に入れたと思ったならば、取り合いになるでしょうか。取り合いになったときには、ケンカや殴り合いのケンカになるかもしれません。こういった暴力的な手段によって「解決」がもたらされた場合、つまり、一方の男の子がオレンジを1個手に入れた場合、それは、「一方の勝利」となります。これは、平和学的には、望ましい解決法ではありません(表中の「●」のケース)。



では、平和的な解決法とは何でしょうか。

2人は、1個しかないオレンジを半分こにするかもしれません。ナイフで切り分けるか、皮をむいて中身を分け合うか、するかもしれません。もともとは1個まるまるほしかったのですから、結果は「妥協」です。50%の満足度ということになります(表中の「★」のケース)。

あるいは、2人は、このオレンジをめぐる対立することを避けるかもしれません。対立することより、波風が立たないことを選択するのです。この場合は、紛争そのものを回避するという意味で、「撤退」とか「逃避」と呼んでいます。消極的な解決法ですが、意外と、重要な役割を果たすことも多いのです。特に、お互いに暴力手段に打って出ようとする場合には、暴力を予防する効果があります(表中の「○」のケース)。

しかし、2人は、もっと創造的に問題を転換しようとするかもしれません。オレンジが1個しかないのなら、仲よく模写してお絵かきを楽しんだり、オレンジをボールに見立てて、キャッチボールをするかもしれません。もう1個、オレンジを買ってきて、1人に1つずつ分けこするかもしれません。あるいは、1個のオレンジでも、オレンジジュースを絞って、寒天を混ぜ、ゼリーを作ったり、小麦粉や砂糖を持ってきてオレンジケーキを作ったりするかもしれません。そのとき、2人だけじゃなくて、他の友達を誘って、料理を楽しむかもしれないし、ケーキを囲んで、誰かのお誕生日をお祝いするかもしれません。残った皮の部分は、ポプリにしたり、砂糖漬けにしてチョコをまぶしてデザートを作るかもしれませんね。最後に残った種は、土に植えて、オレンジの木を育てるかもしれません。数年後には立派なオレンジがたくさんなるでしょう。その間、2人は、家族や友人を巻き込んで、一緒に育てるかもしれないし、世界では食糧難で苦しむ子供たちがいることを学校で勉強したことを思い出し、たくさんのオレンジを売って得た収益を「NGOオレンジ基金」という団体を設立して、そういった子どもたちのための国際協力をする活動を始動するかもしれません。これは、「超越点」と呼ばれます(表中の「☆」のケース)。



超越点とは、もともとの目標が満たされるだけではなく、それ以外のさまざまな「副産物」が生まれることにこそ意味を見出します。たくさんのオレンジをたらふく食べられるだけではなく、友情が芽生え、NGO活動が活発になるのです。



平和教育アニメーションプロジェクト <http://www.peacevideo.net/>

※注:「トランセンド法」とは、ノルウェーのヨハン・ガルトゥング博士によって考案された、非暴力・平和的手段による紛争の転換のための理論である。

・トランセンド国際ネットワーク www.transcend.org

・トランセンド研究会(トランセンド日本) www.transcendjapan.net



参考資料

ホーポノポノ

～対立から対話へ (非暴力コミュニケーション)～

- ホーポノポノは、ハワイ語で直訳すると「曲ったものをまっすぐに直す」という意味。
- ハワイなどのポリネシアと呼ばれる南太平洋の島々にある伝統的な平和に暮らすための慣習・和解の儀式。
- 長老が、誰かが罪を犯したとき、それに関わる全ての人を集め車座になり、その人たちとともに事を見つめ、過去は水に流し、建設的な未来への約束をするもの。最後に長老が事実を書いた紙の目を燃やし終わる。

～ 話し合いの基本ステップ ～

1. **事実を確認する** 自分に影響を与えている事柄について、善悪や責任などの判断と切り離して説明する (いつ、どこで、だれが、どうして、何が起こったか)。
2. **気持ちを伝える** その事柄について、自分はどう感じているか、どんな気持ちがするか。相手がどうではなく、自分の内側を見つめ言葉で表現する。
3. **希望を語る** 相手を非難するのではなく、自分が大切にしたい価値観や満たされたいことを語る。
4. **約束する** 自分ができる具体的で実行可能なことを提案し、相手への希望 (要求ではなく) を語る。

「ドゥブロブニクのオレンジ色の屋根にある戦争の傷あと」



岩田佳子



ウィキペディア

ドゥブロブニクの街を彩るオレンジ色の屋根。よく見ると屋根瓦の色が茶系で風合いのある古い瓦と、鮮やかなオレンジ色の新しい瓦の2種類があるのがわかります。

ドゥブロブニク市民の努力でこれまで長年守ってきた美しい古い街並みが、紛争により無残にも破壊されてしまったのです。

紛争が終わった後、市民たちはかろうじて残った瓦をできるだけ使って新しい瓦と組み合わせて少しずつ修復してきました。

この色さまざまなオレンジ色の屋根は、あの悲しい紛争を忘れないためのものでもあり、戦火を生き延びたこの街と市民の誇りでもあるのです。



フォトギャラリー



スプリットの風景



スプリット～世界遺産の街の路地裏～



首都ザグレブの人と街



クロアチアのマクドナルド



ビーチの風景～縁側で日向ぼっこより
ビーチで日焼け!!～



サッカースタジアム



サッカーサポーター





第4章

そして未来へ

※ P. 32の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・パプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～



2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは…？

- 1 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？ まずは自由に話し合ってみましょう。



東日本大震災写真保存プロジェクト

- 2 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P.32～33の資料を見て、どんなことを感じますか？
- 3 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』（→P.33）の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？



日本はどうなっていきたいでしょう？



みなさんの住む地域はどうなっていきたいでしょう？



日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？



そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- 4 それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- 5 さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24 力国/地域

+ **5** 機関

派遣された人数

1,200 名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約 **84** 億

5,000 万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163 力国/地域

+ **43** 国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126 力国/地域
国際機関

総額 **175** 億円以上

(11月1日現在)



フィンランド

3月18・19日、雪の中、街頭で募金活動が実施されました。



クロアチア

芸術アカデミーの向かいの壁に、若者有志が作成した「オシエク市は日本人々と共にいます」と記された日本国旗の絵が掲げられました。



フランス

4月10日に行われたパリマラソンのコース沿道に、日本国旗と被災地応援メッセージが掲げられました。



ギニア

3月23日、市立マハトマ・ガンディ学院の生徒・教員約80名が日本大使館を訪問し、スピーチと詩の朗読を行いました。



イラン

4月15日、東北在住経験のあるイラン人女性が自宅で行ったチャリティ・イベントでの寄せ書き。



コスタリカ

5月6日、2009年のコスタリカ大地震で被災したADEパイリンガル高校の生徒が千羽鶴を折る日本の習慣を自分たちで調べ、被災した子供たちを元気づけたいという想いをこめて折りました。



ベナン

日本は伝説的な援助国で、これまでベナンに対して寛大な経済・技術協力をしてくれた。ベナンの発展は日本のおかげである。そのような日本のために何かしたいとの思いをベナン人すべてが抱くのは自然である。



マレーシア

スリ・ダスミシュ学校の生徒が、日本大使館に手作りのメッセージカードを託しました。



タンザニア

4月27日、ダルエスサラーム市キガンボニ文化センターの児童(ほとんどが孤児)が、お見舞いのメッセージと絵を日本大使館に送付しました。



南アフリカ

3月27日、ヨハネスブルグでの募金活動「AID 4 JAPAN South Africa」での黙とう。



ガーナ

首都アクラの一部を統括する最高位首長(伝統的権威)が、被災者のため、伝統的な様式による特別な祈りの儀式を実施しました。



南アフリカ救援隊

3月19日宮城県名取市での活動



※ ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。



外務省ウェブサイト「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」『世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)』

心が温くなるメール ～『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より～

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan（日本のために祈る）」という投稿が届きました。

そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。

そうしたメッセージやエピソードは『日本の財産である』と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があつて、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたいらしい。“日本人でしょう？ 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。”国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしないくちや。



誰かに頑張って欲しいと願うなら、100回『頑張れ』と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



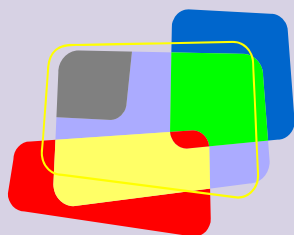
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 資 料



目で見るクロアチア



第二次世界大戦後にユーゴスラビア連邦共和国の一部となった頃は青・白・赤の横縞に大きな赤い星をつけた旗を用いていました。1991年に独立、現在の国旗が制定されました。中央の国章は左から、古代クロアチア、ドゥブロブニク、ダルマチア、イストリア、スラボニアの紋章の楯が乗っています。

● 人口 ● (2009年)



4,416,000人



127,156,000人



● 面積 ●



56,594km²
(九州の約1.5倍)



377,947km²



● 言語 ●

クロアチア語
(公用語)

● 民族 ●

クロアチア人 セルビア人等

● 気候帯 ●

沿岸部:地中海性気候
内陸部:温暖湿潤気候
西岸海洋性気候

● 通貨 ●

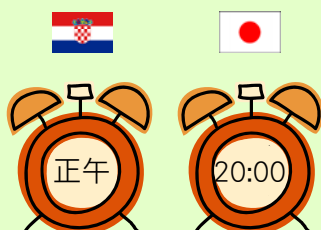
クーナ

● 宗教 ●

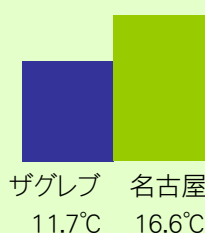
カトリック セルビア正教等



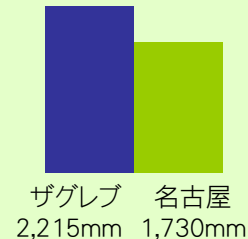
● 日本との時差 ● -8時間



● 平均気温 ●



● 年間降水量 ●



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』荻安望編著(平凡社) ◆面積・首都・宗教・民族・言語・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆人口:世界子供白書2011(ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 ◆気候帯:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆平均気温・年間降水量:Statistical Yearbook of the Republic of Croatia 2011 "Average annual values and values of main meteorological items, 2010" (ザグレブのデータを基に作成) ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「一ポケット情報あいちー土地・気象、人口、農林漁業、事業所」 ◆日本との時差:『世界の国一覧表 2007年版』(財団法人世界の動き社)



● 在留邦人数 ●

101人 (2010年10月)



● 在日クロアチア人数 ●

111人 (2010年 法務省統計)

● 日本との
貿易主要品目 ●



クロマグロ 魚肉等



自動車 エンジン等

● 一人あたりのGNI ● (2009年)



13,810米ドル



37,870米ドル



● 5歳未満児の死亡者数
(出生1000人あたり) ● (2009年)



5人



3人



● 人口増加率 ●
(2000～2009年)



-0.3%



0.0%

● 都市人口の比率 ●
(2009年)



57%



67%

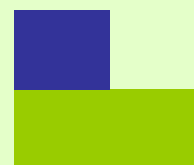
● 出生時の平均余命 ●
(2009年)



76年



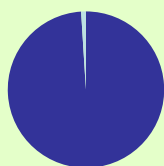
83年



● 成人の総識字率 ●
(2005～2008年)



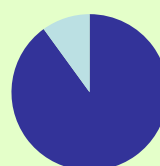
99 %



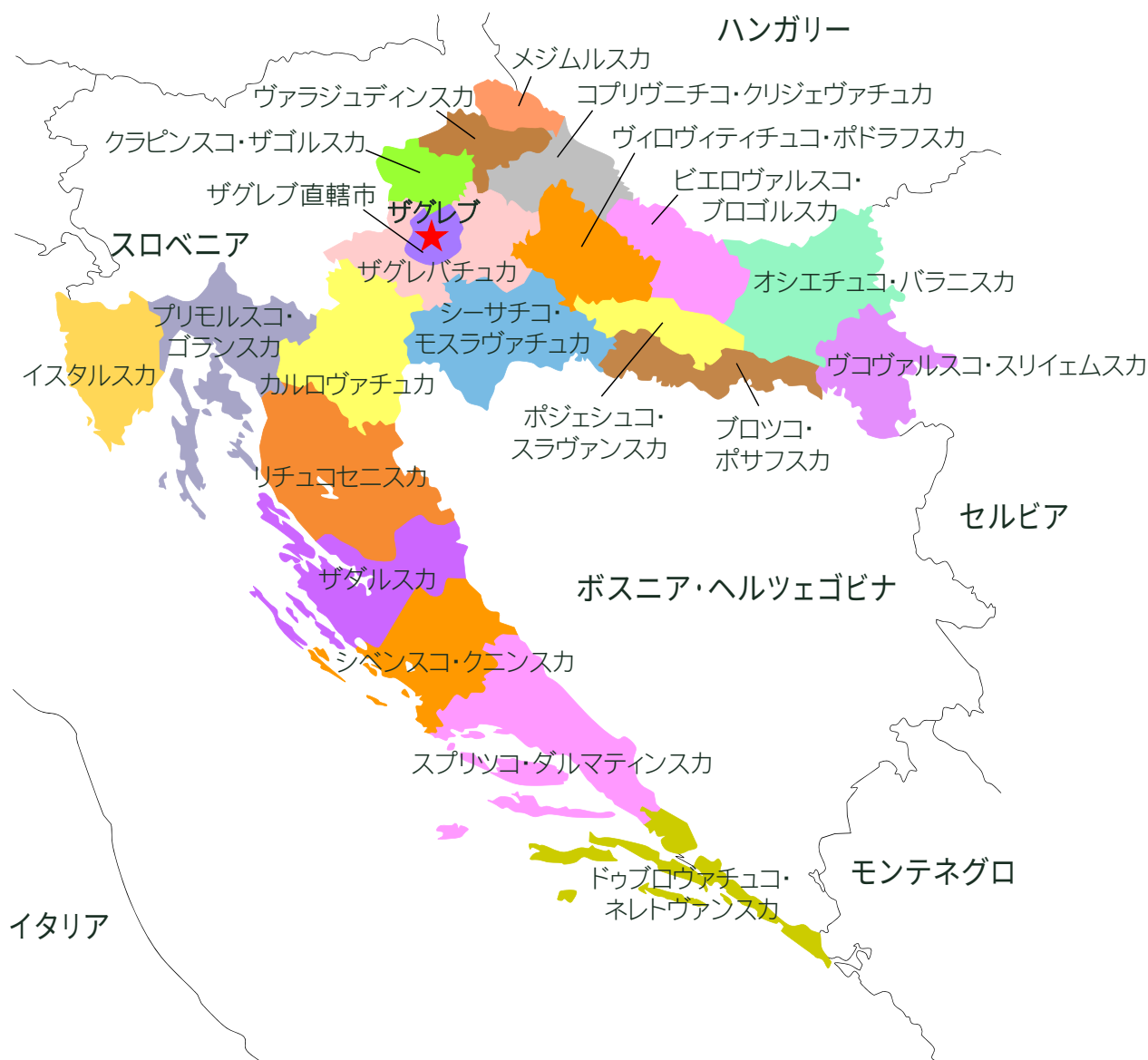
● 初等教育
純就学/出席率 ●
(2005～2009年)



90%



クロアチア地図



ヨーロッパ





ヨーロッパ





参考文献・データ等の出典

- 外務省ウェブサイト
「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
「探検しよう! みんなの地球」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html>
「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>
「世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)」 http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/
- 総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』 <http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 「PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日」prayforjapan.jp編 講談社
- クロアチア政府観光局 <http://croatia.hr/ja-JP/Homepage>
- Living in Croatia-クロアチア(ザグレブ)生活情報 <http://livingincroatia.web.fc2.com/>
- クロアチアのそら <http://plaza.rakuten.co.jp/livingincroatia/>
- クロアチアの風 ~茶猫の旅力フェ〜 <http://blog.goo.ne.jp/croatian-tabby>
- 外務省ホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/index.htm>
- 在クロアチア日本国大使館 http://www.hr.emb-japan.go.jp/index_j.htm
- 外務省:クロアチア共和国 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/croatia/>
- アドリアエクスプレス ブログ <http://adria-ex.com/blog/>
- 日本クロアチア協会 <http://homepage2.nifty.com/nihoncroatia/aboutcroatia.html>
- クロアチアの碧い海の夢 <http://hrvatska.exblog.jp/>
- CROATIA☆DREAMS クロアチア 旅のウェブガイドブック <http://52croatia.wordpress.com/>
- 日本クロアチア文化交流協会 <http://japan-croatia.com/index.html>
- きらりの旅日記 <http://plaza.rakuten.co.jp/hoshinokirari/>
- ミラノ駐在日記 <http://shiroyuki.doorblog.jp/>
- NHK世界遺産 | 世界遺産ライブラリー <http://www.nhk.or.jp/sekaisan/library/index.html>
- 阪急交通社 旅行サイト <http://www.hankyu-travel.com/>
- Wikipedia ウィキペディア スタリーグレード
- シュニツェル <http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- Lufthansa <http://www.lufthansa.com/jp/ja/Homepage>
- アドリアの真珠 <http://www.adria-shinju.com/>
- 世界の料理 総合情報サイト e-food <http://www.e-food.jp/>
- 大使館の食卓 -Back Number- <http://www.bsfsuji.tv/embassy/>
- クロアチアってこんな国 <http://www.pluto.dti.ne.jp/~tomoo/croatia9909/info.html>
- 世界史の研究 - Study of World History - <http://homepage2.nifty.com/murasaki-miyako/>
- 独立系メディア、今日のコラム アドリア海 ドプロブニク コトル 青山貞一・池田みち <http://eritokyo.jp/independent/today-column-adriasea.htm>
- カタリーナ旅行社 <http://katarina-croatia.jp/>
- 世界経済のネタ帳 <http://ecodb.net/>
- 国際日本データランキング 明治大学国際日本学部鈴木研究室 <http://www.dataranking.com/>
- Ostrov Hvar <http://ihvar.cz/>
- 平和教育アニメーションプロジェクト <http://www.peacevideo.net/>
- ウィキペディア クロアチア紛争
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%82%A2%E3%83%81%E3%82%A2%E7%B4%9B%E4%BA%89>
- 『旅名人ブックス84 クロアチア/スロヴェニア/ボスニア・ヘルツェゴヴィナ』 外山純子、中島賢一著
日経BP企画発行
- 『クロアチア 世界遺産と島めぐり』『地球の歩き方』編集室著 ダイアモンド社発行
- 『私のとっておき クロアチアの碧い海』 大桑千花著 株式会社産業編集センター発行
- 『旅の指さし会話帳73 クロアチア』 長束恭行著 株式会社情報センター出版局発行
- 『ユーゴスラヴィア現代史』 芝宜弘著 岩波新書
- 『いつ・どこで・何がおきたか?国際紛争の本 5』監修 大柴亮 岩崎書店
- 『平和的手段による紛争の転換【超越法】』 原著:ヨハン・ガルトゥング、翻訳:奥本京子、平和文化、2000年
原題:Conflict Transformation by Peaceful Means(the Transcend Method)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 鈴木志織 ● 鈴木麻友
- 岩田佳子 ● 碧南市友好親善協会



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来



クロアチア共和国



2012年3月

発行
編集

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



